

◆ 大町ひじり学園だより ◆

ひじりだけ



令和元年5月29日
大町町立小中一貫校
大町ひじり学園
(文責 尾崎 達也)

第2回小中合同体育大会

5月26日(日)快晴の下第2回小中合同体育大会を行いました。水川町長様はじめ多数のご来賓の方々、地域の方々、保護者の皆さんに参観していただき、子どもたちに力強い声援を送っていただきました。水川町長様には公務ご多用の折にもかかわらず昨年度に引き続き閉会式まで参加していただきました。今年も子どもたちが素晴らしい体育大会に創り上げてくれました。4月から実行員会を立ち上げています。井上蓮斗君が実行委員長に、長尾菜々子さん、副島一飛君が副実行委員長に就任し、応援団の承認、練習日程、日焼け止めや髪型の事、衣装係の予算、大会スローガンの決定など多岐にわたって実行委員会で決定してくれました。6月からは小学部の松永小春さんを委員長とする実行委員会と合同で話し合いを行いました。この実行委員会の決定を受けて応援団の練習が始まりました。朝も早くから放課後の時間を使って応援合戦の内容を話し合い、練習・修正をくり返してきました。パネル係は大会スローガンや紅白各団のパネルを作成しました。小学部も1年生から6年生まで、代表委員会で話合った事をもとに入退場門の飾り付けやテント飾りなどに取り組みました。大会スローガンは「雷声雷響～声を響かせ雷を呼べ～」一人一人が声を大きく出すことでやる気を出すという目的で決まっています。

当日は吹奏楽部の演奏で開会しました。子どもたち一人一人が団長のもと、競技に演技に一生懸命に取り組んでくれました。大成功でした。実行委員長の実直でひたむきな姿勢や想いを各団長が共有し、大会スローガンを、各団で具現化しようと努力し、それが全児童生徒に伝わったからだと思います。実行委員会の子どもたちは責任感をもって取り組んでいました。特に実行委員長や副実行委員長のプレッシャーは大きかったと思います。閉会式の時の実行委員長の挨拶ではそのプレッシャーが達成感に変わり、感極まったようです。その後の副実行委員長の閉会宣言の挨拶も素晴らしかったです。



ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、最後まで子どもたちに声援をいただき、ありがとうございました。また、今後ともご協力のほどをお願いいたします。